

網かけ		のところが紹介予約診療担当医です。					八戸市立市民病院（令和5年10月現在）	
担 当 科	診察室	月	火	水	木	金	備 考	
消 化 器 内 科	1	栢 悠太郎	佐藤 真広	栢 悠太郎	佐藤 真広	佐藤 真広	(水)3番、14:00～15:00	
	2	岩崎 隆雄	岩崎 隆雄	岩崎 隆雄	栢 悠太郎	大学派遣医		
	3	荒井 壮	大原 祐樹	荒井 壮	大原 祐樹	荒井 壮		
	4	沖 元二	岡野 優一	沖 元二	沖 元二			
	5	赤坂 明日香	赤坂 明日香	大原 祐樹	織笠 雅行	赤坂 明日香		
内 分 泌 ・ 糖 尿 病 内 科	6	山一 真彦	山一 真彦	祐川 真之介	山一 真彦	祐川 真之介		
	7	森山 貴子	森山 貴子	森山 貴子	森山 貴子	森山 貴子		
	8	工藤 貴徳	工藤 貴徳	工藤 貴徳	工藤 貴徳	工藤 貴徳		
	9			大学派遣医		大学派遣医		
脳 神 経 内 科	10		奥島 敏美	奥島 敏美		奥島 敏美	(月)隔週、木村健介医師	
	11	田野崎 真人	田野崎 真人	田野崎 真人	田野崎 真人	大学派遣医	(金)10番、大学派遣医、第4週午後のみ (金)11番、大学派遣医、第2週午前のみ	
循 環 器 内 科	15		松井 宏光	松井 宏光			(水)16番、午後、ペースメーカー外来	
	16	清館 美里	清館 美里	堀内 大輔	堀内 大輔	松井 宏光		
呼 吸 器 内 科	12	二瓶 真由美			清館 美里	松井 宏光		
	13	安ヶ平 英夫	熊谷 美香	熊谷 美香	二瓶 真由美	安ヶ平 英夫		
総 合 診 療 科	14	土橋 雅樹	秋田 貴博	藤嶋 駿介	土橋 雅樹	秋田 貴博		
		坂本 拓矢	坂本 拓矢	坂本 拓矢	坂本 拓矢	坂本 拓矢		
漢 方 内 科			川村 強	川村 強	川村 強		(木)10番、(午前)漢方外来・派遣医第3週のみ	
			河野 順子	河野 順子	河野 順子		(水)午後のみ	
外 科	1	水野 豊			水野 豊		(月)1番、午前のみ	
	2	米内山 真之介		西村 隆一	青木 計績		(火)3番、午前のみ	
	3	中山 義人	佐藤 智行	上村 卓嗣	西村 隆一	丸山 祥太	(水)2番午前のみ	
	4	金井 哲史	寺下 茅夏	吉田 諭	大学派遣医	吉田 諭	第3週(木)午後 腫瘍内科(大学派遣医)	
乳 腺 外 科	1	金井 綾子	長谷川 善枝	長谷川 善枝		長谷川 善枝	(月)1番、午後から	
	2		金井 綾子			金井 綾子	(水)1番、午後から	
血 管 外 科	1				大学派遣医		第2、4週午後のみ	
小 児 外 科	3		佐藤 智行				診療受付時間 13:30～15:30	
形 成 外 科	4		大学派遣医		大学派遣医		(火)14時～乳房再建のみ (木)午前のみ	
泌 尿 器 科	5	鈴木 健大	佐藤 真彦	佐藤 真彦		佐藤 真彦	(火)午後、手術のため休診	
	6	小野 健介	小野 健介	鈴木 健大	(手術日)	鈴木 健大	(木)手術のため休診	
心 臓 血 管 外 科	7		小野 裕逸	小野 裕逸				
	8	(手術日)	河原井 駿一	河原井 駿一	(手術日)	(手術日)		
			青木 哉志	青木 哉志				
呼 吸 器 外 科	7	三井 匡史			戸田 洋			
	8	戸田 洋	(手術日)	(手術日)	三井 匡史	(手術日)		
脳 神 経 外 科	9	油川 大輝	(手術日)	油川 大輝	(手術日)	油川 大輝		
	10	鈴木 一郎	(手術日)	鈴木 一郎	(手術日)	鈴木 一郎	(木)脳外手術日、9番(午後)第2、4週てんかん外来	
整 形 外 科	11	田中 直	横森 薫	横森 薫	田中 直	木田 聖也	(月)12番午後、FLS外来	
	12	鎌田 陽光	大石 裕馨		鎌田 陽光	大石 裕馨	(水)12番午前、第2週、4週 大石(小児)	
	13	沼沢 拓也	千葉 紀之	沼沢 拓也	沼沢 拓也	千葉 紀之	(金)13番午後、第4週のみ 派遣医	
歯 科 口 腔 外 科		鎌 宏剛	鎌 宏剛	鎌 宏剛	鎌 宏剛	鎌 宏剛		
	1	長内 俊之	長内 俊之	長内 俊之	長内 俊之	長内 俊之	第3金曜日、専門外来(咬合異常・不正咬合) 火・水曜日、手術日	
産 婦 人 科	2	高橋 聡太	石井 顕徳	田中 宏典	鬼怒川 博孝		火曜日 2番隔週、午前のみ	
	3	田中 創太	吉田 瑠子	葛西 剛一郎	湊 敬道	葛西 亜希子		
	4	河野 順子	河野 順子	河野 順子	小丸 扶紗子	小針 諒也		
眼 科	5	齋藤 桂子	木村 聡	齋藤 桂子	木村 聡	齋藤 桂子		
小 児 科	6	大久保 幸宗	佐々木 都寛	佐々木 都寛	大久保 幸宗	伊藤 裕也	午後、専門外来(予約制)	
	7	金城 学	金城 学	金城 学	佐々木 都寛	金城 学		
	8	差波 新	高橋 佑果		伊藤 裕也	差波 新		
		午後の 専門外来		予防接種				
精 神 神 経 科	1	岩城 弘隆	岩城 弘隆	岩城 弘隆	岩城 弘隆	高橋 弘樹	(月)大学派遣医、隔週担当	
	2		吉田 恵心	吉田 恵心	吉田 恵心		(金)7番、隔月1回のみ大学派遣医	
	7	大学派遣医	高橋 弘樹	高橋 弘樹				
耳 鼻 咽 喉 科		三國谷 由貴	三國谷 由貴		三國谷 由貴	三國谷 由貴	(水)手術日のため休診	
		三浦 峻	三浦 峻		三浦 峻	三浦 峻		
		前田 泰規	前田 泰規		前田 泰規	前田 泰規		
皮 膚 科	4	寺田 明莉	寺田 明莉	寺田 明莉	寺田 明莉	寺田 明莉	(水)午後、脱毛外来(予約制)	
放 射 線 科	6	村井 孝弥	村井 孝弥	村井 孝弥	村井 孝弥	村井 孝弥		
緩 和 医 療 科			松倉 弘明		松倉 弘明			
	6		松倉 理佳子		松倉 理佳子			
救 命 救 急 セ ン タ ー	6	細野 由希子		細野 由希子		細野 由希子	午前のみ	
野田頭 達也、今野 慎吾、吉村 有矢、十倉 知久、賀輪 啓太、近藤 英史、貴和 亮太、小野 文子、砂田 大貴、和知 修太郎、長沖 雄介、佐々木 雄作、名和 宏樹、稲田 尚子								

紹介予約専用電話 0178-72-5000

* 紹介予約電話受付時間 午前8:15～午後5:00(土・日・祝日・年末年始は除く。)

* 休診日:土曜日・日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)

医療機関の皆様へ

当院医師へご用の場合は0178-72-5111(代)へ、 急患室にご用の場合は、【電話】0178-72-5104、【FAX】0178-72-5106へお願いいたします。

八戸市立市民病院地域医療連携室だより 第 64 号



発行／令和 5 年 10 月吉日

八戸市立市民病院 地域医療連携室

〒031-8555 八戸市田向 3 丁目 1-1

電話 0178-72-5237 FAX 0178-72-5222

発行責任者／沖 元二

下肢閉塞性動脈疾患（LEAD）について

循環器内科 医長 遠藤 知秀

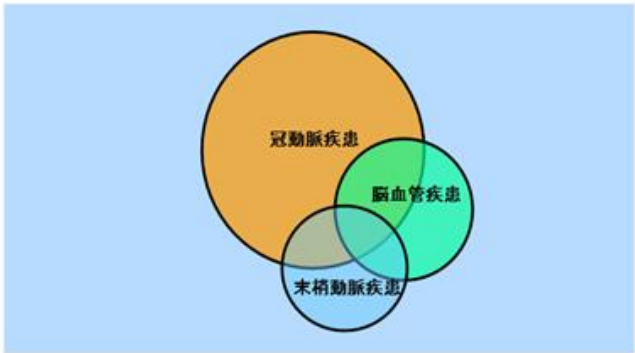
LEAD は動脈硬化が原因として生じる下肢の血行障害です。動脈硬化の危険因子としては、糖尿病・脂質異常症・高血圧・肥満・喫煙などの生活習慣病と生活習慣が挙げられます。また、慢性腎不全や透析治療は病状の悪化に強く関与しています。

LEAD は側副血行路が高度に発達している場合には動脈が閉塞していても無症状である場合がありますが、十分な血流が保てなくなると臨床症状を認めるようになります。典型的な症状としては運動をすると疼痛が生じ、休息で軽減する間欠性跛行を認めるようになります。更に病変が進行すると下肢の安静時痛が出現し、小さな傷がきっかけとなり足の潰瘍や壊死に陥ります。感染症を併発し重篤化する場合には切断しなければなりません。症状の悪化を見逃さないための診察(問診、視診、触診)が重要になります(図 1)。

また、動脈硬化症は全身性の疾患であるため LEAD を発症した場合には他の部位の動脈にも同様の虚血性疾患を併発している可能性が高いと考えられます。LEAD 患者の約 20%で脳血管疾患を併発し、狭心症や心筋梗塞などの冠動脈疾患に関しては実に約 50%が併発していることが知られています(図 2)。下肢の自覚症状は ADL の低下をもたらすため下肢への治療は必要ですが、生命予後の維持には心血管イベントの予防の方がより重要になります。

Fontaine分類		Rutherford分類		
度	臨床所見	度	群	臨床所見
I	無症候	0	0	無症候
II a	軽度の跛行	I	1	軽度の跛行
II b	中等度から重度の跛行	I	2	中等度の跛行
		I	3	重度の跛行
III	虚血性安静時疼痛	II	4	虚血性安静時疼痛
IV	潰瘍や壊疽	III	5	小さな組織欠損
		III	6	大きな組織欠損

(図 1)



REACHRegistry
末梢動脈疾患患者の約52%は冠動脈疾患、約23%は脳血管疾患を併発

(図 2)

■LEAD に対する当科の取り組み

運動療法や薬物療法による保存的治療を行い、効果が乏しい場合は血行再建術を行います。患者の重症度（Fontaine 分類や Rutherford 分類）や併存疾患、患者希望などを考慮して治療方針を決定しております。

●カテーテルを用いた血管内治療

これまでは外科的バイパス手術による治療が主でしたが、近年はカテーテルを用いた血管内治療が多くを占めています。カテーテル治療は局所麻酔で治療を行うことができるため短期間の入院での治療が可能となっています。病変によってはバイパス手術が適応となる症例もありますので、心臓血管外科との連携を行っております。

●患者の術後負担軽減

一般的には大腿動脈を穿刺することでカテーテル治療を行うことが多いため患者は術翌日までベッド上安静を強いられます。当院では症例によっては橈骨動脈や足背動脈からの穿刺でカテーテル治療を行っているため術後の安静が不要となります(図 3)。

●心血管疾患のスクリーニング

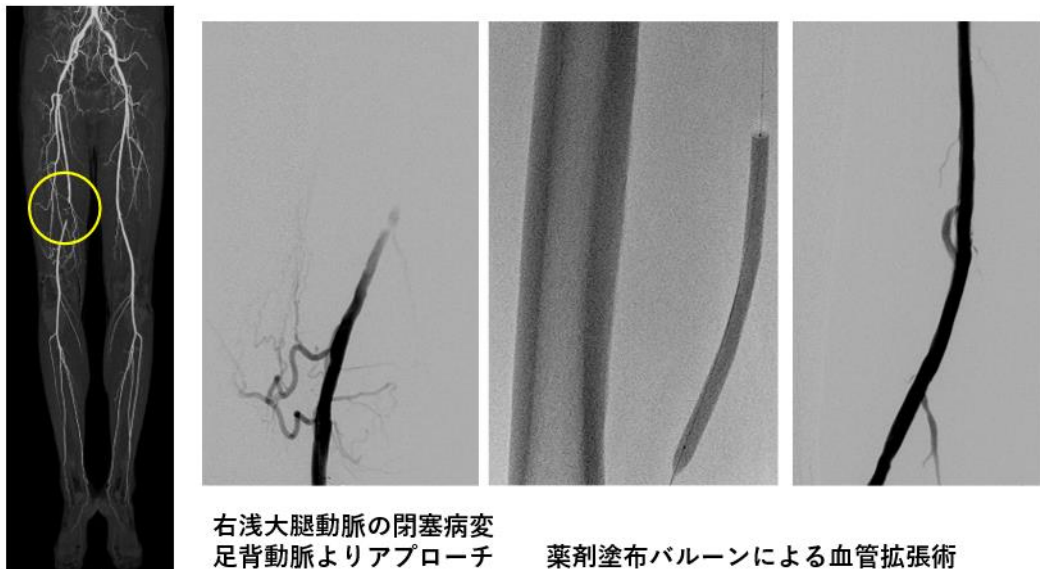
上述したように LEAD は心血管疾患を併発することが多いため、心電図や心エコー検査に加えて冠動脈 CT や冠動脈造影検査を追加し心血管疾患のスクリーニングを行っております

●重症下肢虚血の患者に対して

潰瘍形成を伴う LEAD は ADL を著しく悪化させ予後がさらに悪くなります。当科では高圧酸素療法や血液浄化療法(レオカーナ)などの補助療法を行うことにより創傷治癒を目指し、皮膚科や整形外科、看護師を中心としたコメディカルと連携しフットケアを行っております。

●他院との連携

患者の予後改善や患肢の悪化を防ぐためには早期発見・早期治療が重要になります。当科を受診した時には足の状態が既に悪化している傾向にあります。LEAD は症状が多岐にわたるため紹介先に迷われるケースがあることや情報提供書作成に手間がかかることなどが原因と思われます。紹介を容易かつスムーズにするため簡便な情報提供書を作成しましたので御活用ください(当科ホームページからダウンロードできます)。地域医療連携室まで FAX をしていただければ対応させていただきます。



右浅大腿動脈の閉塞病変
足背動脈よりアプローチ
薬剤塗布バルーンによる血管拡張術

(図 3)



全国自治体病院学会 in 北海道への参加報告

去る8月31日(木)～9月1日(金)に札幌市にて、全国自治体病院学会が開催され、日ごろの実践について報告いたしました。学会に参加することで、業務の振り返りにもなり、また他院の取り組みも学ぶことができました。今後も参加していきたいと考えております。

■当院の発表演題

臨床工学分科会

- ・IMPELLA の施設導入における臨床工学技士の取り組み
- ・内視鏡鉗子管理システムによる劣化・破損の判定

看護・看護教育分科会

- ・術後せん妄により転倒を繰り返した高齢患者を身体拘束せず支援した一事例を振り返って

地域医療・連携・福祉分科会

- ・倫理的ジレンマを抱いた退院支援の一例



講演会のお知らせ

「がんゲノム医療」は、遺伝子情報に基づくがんの個別化治療の一つです。国では全国どこでもがんゲノム医療が受けられることを目指して、体制づくりを進めています。この度、がんゲノム医療についての講演会を開催することとなりました。院外の方も聴講することができますので、ご希望の方はがん相談支援センターまでご連絡ください。

・演 題 広げよう！がんゲノム医療！

・講 師 弘前大学大学院医学研究科腫瘍内科学講座 佐藤 温 教授

・日 時 11月16日(木) 17時30分～18時30分

・場 所 八戸市立市民病院 2階 講堂

★お問い合わせ先：がん相談支援センター 0178-72-5148

